

## 令和5年度中津市総合教育会議議事録

日 時：令和6年3月28日（木）10：30から

場 所：中津市役所4階 研修室

出席者：（市長部局） 市長職務代理者 前田副市長

（教育委員会）中山委員、久恒委員、横松委員、本田委員、古口教育長

事務局：総務部長、教育次長、総務課長、教育総務課長、学校教育課長、防災危機管理課長、防災危機管理監、総務課主幹、教育総務課主幹、学校教育課主幹、防災危機管理課主幹

（当日発言者を記載）

### ○司会（総務課長）

ただ今より、令和5年度中津市総合教育会議を始めさせていただきます。初めに、市長職務代理者でございます、前田副市長よりごあいさつを申し上げます。

### ○副市長

皆さん、おはようございます。

本日は、大変お忙しい中、この総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様方には、平素より中津市の教育の充実・発展にご尽力いただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、本日開催いたします「総合教育会議」は、教育委員会と首長が協議・調整することによりまして、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを狙いとしております。

中津市ではこれまでも、教育委員と市が連携を図りながら教育行政を進めてきているところでありまして、本日は、「中津市教育大綱の改訂について」、それから、「小中学校における防災教育について」の協議・調整事項がございます。

委員の皆様には、本日の「総合教育会議」が有意義な会議となりますよう、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

そして、これからの中津市の教育の発展に尽くしていきたいと思っておりますので、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

### ○司会

それでは、次第3の協議・調整事項に移ります。ここからの議事進行につきましては、中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、副市長が議長として進めさせていただきます。それでは、お願いいたします。

### ○副市長

それでは、中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、議事を進めさせていただきます。

それでは、協議・調整事項の1点目、「中津市教育大綱の改訂について」事務局より説明をお願いいたします。

#### ○総務課主幹

総務課総務係の寺尾と申します。よろしく申し上げます。資料の方は、A4横の『令和5年度中津市総合教育会議』と書かれた資料をご覧ください。それでは、座って説明させていただきます。

以降、中津市教育大綱の過去の経過、第2期中津市教育振興基本計画の中間見直しによる計画の改訂、について説明。

#### ○教育総務課長

それでは、教育総務課からは、第2期中津市教育振興基本計画の位置づけや、なかつ安心・元気・未来プランとの関係性などについて、少し振り返りながら説明させていただきます。詳しい内容については、後ほど担当主幹から説明いたします。

以降、第2期中津市教育振興基本計画の位置づけ、なかつ安心・元気・未来プランとの関係性、について説明。

#### ○教育総務課主幹

続きまして、A4横の資料5ページに戻りまして、主な見直しの内容について資料に沿って説明させていただきます。

以降、施策体系の修正、重点取り組みの見直し、指標の見直し、第2期中津市教育振興基本計画に基づいた令和5年度中の取り組み、について説明。

#### ○副市長

ありがとうございます。今、説明がありましたとおり、中津市のそれぞれの部署にそれぞれ計画があるのですが、これらの最上位にあたる計画は中津市総合計画です。そして、それぞれの部署の計画は、この総合計画に沿って作られています。当然この中津市教育振興基本計画も、総合計画と整合性を持って作っているため、2022年の総合計画の改訂に伴い、中津市教育振興基本計画も改訂されたということです。

そして、中津市の場合、中津市教育振興基本計画をもって教育大綱とすることを決定していますが、今回この計画が改定されたため、教育大綱も改訂することによって提案させていただいております。

もう一点は、令和5年度中の教育基本計画に関する取り組みの実績を説明していただきました。

皆さん方から何か意見があれば、お伺いしたいと思います。積極的にどうぞお願いいたします。

#### ○中山委員

先日、小学校と中学校の卒業式に参加させていただき、大変感動的な卒業式で、先生方も頑張っているなというふうにまず感じた次第です。

ただ、OECDの中で、教育予算にかけられる割合が少なく、加盟国の中でも一番下の方にあるというのが日本の状況です。

中津市においては、私が勤務している頃に比べて、学習補助員、教育補助員、図書館司書の方々、それから現在、それぞれの学校に不登校の子供たちが増えてきているということで、登校支援員が配置されています。

それでもまだ学校現場の先生方は大変苦勞なさって、地域の憧れの職業から、教員というのがブラックの職業に変わりつつあると聞いていますし、教員を志願する学生も少なくなっている現状です。

そのような中で、学校現場でさらなるマンパワーの保障をお願いしたいというのが痛切な願いであります。以上です。

#### ○古口教育長

今、中山委員さんからご意見がございましたが、中津市は他市に比べて、市独自の補助員等を当初から積極的に増やし、成果を上げてきております。

ただ、実際の不登校にしても、特別支援に関わる子供たちの増加にしても、そういった現状になかなか制度が追いついていけないという状況です。

これはもう本当、単独の市だけでは解決できない話であり、国レベルで、教育予算のことも含め、魅力ある現場を作り、大学生等が教職員になりたいと、未来を担う子供たちを育てたいと、そういった思いを国全体で支援していただき、中津市においても、その中でやれる部分をやっていきたいと考えております。以上です。

#### ○副市長

ありがとうございます。中津市でも、なるべく先生方の負担を減らすような形でこれまでも予算をつけておりますが、このような課題については今後もしっかり考えながら対応していきたいと思っております。

他に、特にご意見が無いようですので、協議・調整事項の2点目、「小中学校における防災教育について」説明をお願いいたします。

#### ○学校教育課長

学校教育課です。資料の10ページをご覧ください。学校における防災教育について、現在の実施状況をお知らせいたします。

以降、防災教育の実施状況、具体的な取組の様子、について説明。

#### ○防災危機管理課長

資料の20ページ以降につきましては、防災危機管理課の防災教育に対する

取り組みについて掲載しております。防災危機管理課では、防災の普及啓発を目的とし、防災危機管理課主催の防災出前講座や、防災士による防災学習を実施しております。また今年度より、子供たちに教育に関する知識と意識を育み、将来の中津市の安全と安心に役立つ人材を育成することを目的とし、中津ジュニア防災リーダーの行政についての取り組みも始めてきたところです。

以上、今説明した3点につきまして、担当主幹から詳細を説明いたします。

#### ○防災危機管理課主幹

防災危機管理係の安河内と申します。それでは、資料の20ページをご覧ください。

以降、防災出前講座、防災士による出前講座、なかつジュニア防災リーダーの認定、現状の課題、について説明。

#### ○副市長

ありがとうございます。事務局の方から説明がありました内容につきまして、委員の皆さん、質問はございませんか。

#### ○横松委員

防災出前講座の実施が5年で7校というのは、ちょっと少ないのかなと感じました。学校から要請がないといけない部分もあるとは思いますが、防災に関して、年に1回は各学校で出前講座なりしていただければと思います。また、学校での防災訓練等も連携して実施するなど、少し大掛かりになるかもしれませんが、そういう取り組みもあった方がいいのかなと感じました。以上です。

#### ○副市長

ありがとうございます。今の意見について、何か担当課からありますか。

#### ○防災危機管理課長

ご意見ありがとうございます。

出前講座に関してですが、横山委員のおっしゃる通り、我々もぜひ増やしていきたいと考えておりますので、教育委員会とも連携して取り組んでいきたいと考えております。

また、市と連携した訓練ですが、防災危機管理課としましては、地域の自主防災組織の訓練実施率を上げていこうということで取り組んでおります。地域の訓練実施率を上げていく中で、様々な関係団体とも連携を図りながら、学校とも連携した取り組みが出来ればなと思っております。

実際、鶴居小学校では、自治会と連携して避難訓練を今年度実施しましたので、そういった形で各学校とも連携を図りながら、地域の訓練等に取り組んでいきたいと考えております。

○副市長

出前講座の取り組みについては、担当課から説明があった形で進めていきたいと思えます。他に、ご意見等ございますか。

○久恒委員

私も同様ですが、避難訓練が年2回から4回と聞いて、2回はあまりに少ないのではないかなと思いました。今、中津市は本当に安全で、水害はありますけど、地震とかの心配が少ない地域だと思っています。ただ、子供たちは18歳以降どこに旅立っていくかわかりません。今はどこで大きな地震が起きるかわからない日本で、他の地域では、小さい時からしっかり訓練されているお子さんも多いと思うので、もう少し避難訓練などしていただければなと思えます。

○副市長

ありがとうございます。何か担当課からありますか。

○学校教育課長

ご意見ありがとうございます。

危機意識を常に持つて行うことが大事だと思いますが、教育課程の中で、どれだけ時間を取れるかというのも当然検討する必要があります。ただ、やはり命が一番大事だという所がありますので、避難訓練に参加する機会を増やしていく時期なのかなと正直思っています。

現在、火災であったり、津波であったり、また不審者対策であったりなど、学校の様々な場面を想定して避難訓練等をやっております。一回一回の訓練を真剣にできるように、子供たちとも、今日は何のためにどう動くのか、しっかりと認識しながら学習をしていくことを大事にしていきたいと思えます。当然、訓練の回数も検討の余地は十分あると思えますので、学校の方にも働きかけをしていきたいと思えます。

○副市長

他に、ご意見等ございますか。

○本田委員

私も似たような意見になるのですが、最初に資料を見たときに、小中学校の7割以上の学校で地域防災マップを作成しているということでしたが、思ったより少ないなと思えました。逆に言うと、3割ぐらいの学校はまだ出来ていないということですが、今後、作成の予定などあるのかなと疑問に思いました。

○学校教育課長

地域防災マップについては、先ほど緑ヶ丘中学校の取り組みで、メールなどを利用して、この地区は平野部が多いですが、その中でもやはり危険な箇所があるということ意識しながら実施しています。そういった取り組みを、ハザードマップの危険箇所を作っていない学校についても、防災に対する意識を持ってハザードマップを作っていくというのは大事なことだと思います。

やはり防災意識を高める中で、ハザードマップの作成率を高めていきたいなと考えております。以上です。

○副市長

その他、ご意見等ございますか。

○中山委員

市の職員が、防災教室や出前講座をなさってくださいありがとうございます。新聞で、輪島市やその近辺の子供たちが金沢の地震で、白山市や金沢市の方に集団避難するというのを拝見しました。

その中で、この防災教育から外れるかもしれませんが、被災経験から能登の教員を支えるということで、医師や看護師を中心としたDMATという医療チームがありますが、その教育版DMATというのでしょうか、被災地の教員がもう疲れてしまっているため、その支援に当たるということで、兵庫県の教職員のチームが震災後に能登に入られたという記事を読みました。

学校支援チームですね。兵庫県が第一番に出来て、その後、宮城県、それから岡山県、熊本県にも同様のチームが出来ているようです。また三重県は、南海トラフに備えて、実際に今も同様の活動をしていると、教育版DMATというのでしょうか、そういうチームができているそうです。

中津市の場合は、災害が少ないのですが、山口県に上関原発がこれから出来る予定ですし、伊方原発について、一番は南海トラフの地震による津波かなと思っているのですが、そういう状況を想定して、市の方で教育版DMATを創設するシミュレーションがあるのかということが1点目です。

それと、昨日もテレビで報道されておりましたが、実際にこういう被災地では通信環境や電源が確保できないということですが、衛星携帯を地区に渡すことができなかつたため、自治会長さんが山を登って下って市の方に連絡したと報道されておりました。

衛星携帯通信の件と、教育版DMATの件について、もしお話できることがあればお願いします。

○副市長

ありがとうございます。何か担当からありますか。

○防災危機管理課長

防災危機管理課です。最初に、衛星携帯電話の関係についてです。今、中津市では衛星携帯電話を9台確保しておりまして、各支所に2台ずつと、本庁に置いている状況です。ご自宅に衛星携帯電話を置いているところまでは出来ておりませんが、何かありましたら、所管の衛星携帯電話を使いまして、連絡調整を行うような形はとっております。

#### ○学校教育課長

教育版のDMA Tについてですが、やはり中津市のような非常に災害の少ない場所に住んでいると、あまり危機感を持っていなかったというのが正直なところだと思います。他市や他県において、実際の経験に即した中でDMA Tを作っているところの取り組みや内容について学びながら、中津市においてもこれからいざという時に備えていく必要があるなどと考えております。そのためにも、現地の経験者の方を講師として招くなど、様々な形で学ぶ機会を作っていく必要性を感じています。以上です。

#### ○副市長

その他、よろしいでしょうか。

今、それぞれご意見が出ましたが、東北の震災の時、小学生や中学生の意識が高かったために命を守れたというような事例もありますので、中津市としましても、ぜひ子供たちに対する防災教育をどんどん進めていきたいと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

その他、無いようであれば、ここまでで協議・調整事項は終わりになります。

4点目のその他ですが、事務局からは特に無いようですので、全般を通じて、委員の皆様方から何かあればお伺いしたいと思います。

#### ○中山委員

先日、耶馬溪校の保護者に対する通学補助を増額していただいてありがとうございました。教育委員会でも話をさせてもらいましたが、古口教育長さんが各中学校に赴いて、耶馬溪校が存続できるように、子供たちが耶馬溪校で再生している姿をあちこちの校長先生に伝えてくださったおかげで、今年度耶馬溪校は定員に少し足りなかったですけど、以前のようにまた子供たちが頑張っている姿を拝見しております。よく郵便局に行きますと、今年度から副校長先生がヤッホーという学校通信を出していただいて、綺麗に保護フィルムでカラー印刷したものを綴じてくださっております。郵便局の方でそれを読ませてもらいますと、子供たちの感想がいっぱい出てきまして、特に市の補助の対象になっていない上毛中学校や吉富中学校の生徒さんなどが、大変嬉しい感想を書いておりました。市の方でこうやって申し立ててくださったということに改めて敬意を申し上げます。以上です。

○前田副市長

ありがとうございます。耶馬溪校については、今後も色々な取り組みを進めながら、生徒の確保をしていきたいと思っておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

その他、特に無いようであれば、ここで進行を事務局にお返しいたします。

○司会（総務課長）

ありがとうございました。大変長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございます。以上をもちまして、令和5年度中津市総合教育会議を終了いたします。皆様、お疲れさまでした。

（ 1 1 : 3 8 終了）

※発言内容については、重複した言葉づかい等を簡潔に整理したうえ、議事録としています。